



わたし、アナタ、min-na

No.11

そのすがたがうれしい

相談室編

2022年 5月31日 市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

明日から6月。さわやかな季節になりました。中庭にはボランティア局の生徒が植えた鉢植えの花や、テーブル、ベンチ等が置かれ、一気に夏場の憩いの場へ姿を変えました。時間のある時にぜひ行ってみてくださいね。



さて、今回は相談支援パートナー・学びのサポーター富長佑来さんのコラムです。

相談支援パートナー・学びのサポーター 富長 佑来

20世紀。

「100まで数えるのはなんで？」子どもにとっては受難の時。それは温泉の湯舟でのカウントアップだ。祖父と温泉に行くのは大好きだったが、5歳の小さい体には湯舟は灼熱。祖父の、「ゆうき、肩まで浸かって100数えるぞ」という決まり文句には苦勞した。

「77, 78, 79…」「ゆうき、おじいちゃん何歳かわかるか？」「63」「そう。」「64, 65, 66…」ご丁寧に落語「時そば」実演のおまけつき。音を上げた私は何をしたか。恥ずかしながら勉強で難問にぶつかった時と同じだ。頑張る？違う。意味なく理由を尋ねるのだ。「何でこんなことする必要あるの？」と。

この手の質問を、祖父は意に介さない。それでも答えをぶつけてみる。「A.身体を温めるため？」「B.数の勉強のため？」「…C.我慢の練習？」祖父は反応を示さない。私もネタが尽き、「D.100が好きだから」とか、しまいには「E.数えると魔法になるから」と自分でも意味がわからない解答をしたところで私は飽きてしまった。「ろくじゆなーな、ろくじゆはーち…」祖父は上機嫌に戻り、40℃の湯舟がもたらすα波を堪能する。

その後も祖父は、私と温泉に行ったし、一緒に夜8時のプロレスを見たし、クラスの書道で銀賞をとったことよりも練習の駄作の数をほめてくれたし、お土産の登別まんじゅうにゴマと間違えて「食べられません」と書かれた乾燥剤をかけて食べてしまったし、叱られた時に「わかったって！」と歯向かうと「わかってない」と言ったし、逆に「俺わかってないかも…」と悩んでいたら、「いや、それはわかっている証拠」と言ってくれた。

やれやれ、好きな人を語るといつもこう。2つ3つと挙げてもどれも芯を食ってない。センスのない素因数分解みたい。出たものを掛け合わせたところでその積はその人にはならない。いっそネットにあふれてる記事みたいに、「3つでまとめる祖父の特徴」みたいなのがあったら楽なんだけど。いや、いらんか。知識だってノウハウだって好きな人だってそうだ。僕らが困った時に必要なのは、ファスト映画みたいに誰かに咀嚼してもらった要点じゃない。物語を丸ごと飲み込む胃袋だ。

☆ ☆ ☆

・祖父から、挑戦するためのフレーズを授かった。

どういうわけか私と弟は、「祖父が食べられませんを食べた」という謎の行動を気に入ってしまい、このフレーズをよく使いました。そして何度か救われてきたように思います。クリアできないゲーム、課題。誰かが「もう無理だ」

と投げ出した状況。そんな時、のんきな登別まんじゅうの映像が浮かび、「食べられませんを食べたぜ」と言いたいがためにコツコツ頑張れたことがありました。

とはいえ、「やはり食べられません」と思ったストレスは、誰かに「吐き出す」ことも大切です。実際、祖父もその後、登別まんじゅうを…、大地に還しています。

・「やばい、ないっ！ ないぞっ!!」と探すと、探し物は見つからなくなる。

ないものではなく、あるものを数えていたい。1つ2つと。やらかした失敗。何も進まなかった1日。報われなさで眠れない夜。そこで数えてみます。寝る前に3つ、今日あった良かったことを小さくても数え上げる。口角が上がって眠れる気がします。

あるいは無力感に飲まれた夕方に。あなたのできていることを数える。4つ5つと。そこにはあなたの親にも尊敬する友にもできないものがあります。さらに数えます。長所。誰かへの貢献。かわいい所。イケてる所。伸ばす所。その1つ1つは脆弱なものです。それらが6つ7つと重なり、ある数を超えたところで魔法が宿りだします。ショッピングモールの1グラム5円のお菓子も1つ1つは取るに足りないのですが、「全種類つめあわせ！」となった瞬間、それはまるで宝箱のようになり5歳児たちを圧倒しています。

☆ ☆ ☆

21世紀。銭湯。

いまだに湯舟では100まで数える自分がいる。タトゥーなんて全く興味がないけど、こうして心に彫られたまま消えない祖父の跡を確かめるのは悪くないよな。

銭湯帰りの涼しい空気と街のネオンは、まるで祭りの後のような疲れと多幸感で自分を包んでくれる。そこから見上げるは、星が瞬く夜空だ。自分のホームタウンと違ってこの街の星の数は少ないんだけどね。祖父との思い出を8つ9つと数え上げていくとすぐに星の数を超えてしまう。そして気づく。「なんだ、俺、合ってたじゃないか」と。数十年の時を経て、夜空の向こうに「答え」をもう1度放り投げ、自転車で6月の街を駆けた。

“E. 数えると魔法になるから。”

【6月のスクールカウンセラー・相談支援パートナー 相談日】

スクールカウンセラー	滝川 秀子さん	6/7(火)、6/20(月)、6/28(火)
	太田 滋春さん	6/1(水)、6/9(木)、6/15(水)、6/22(水) 6/29(水)
相談支援パートナー	山吹はるえさん	6/3(金)、6/7(火)、6/10(金)、6/14(火)、6/17(金) 6/21(火)、6/24(金)、6/29(水)
	栗田 正樹さん	6/1(水)、6/8(水)、6/15(水)、6/22(水) 6/29(水)
相談支援パートナー 学びのサポーター	富長 佑来さん	6/2(木)、6/6(月)、6/9(木)、6/13(月) 6/16(木)、6/20(月)、6/23(木)、6/27(月) 6/30(木)



【保護者のみなさまへ】

スクールカウンセラーのカウンセリング予約はいつでも受け付けておりますので、担任又は保健室までご連絡ください。

